

1. 件名：
国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の防災訓練実施結果報告書の概要説明について
2. 日時：
令和2年2月19日（水）13時00分～14時30分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、水野技術参与
国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
技術専門職員
5. 要旨
国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻より、令和元年12月20日（金）午後に実施された総合防災訓練実施結果の説明を受けた。
訓練は、地震の発生に起因して、廃止措置作業中に稼働している装置より放射性物質が漏えい、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力向上を目的として実施された。
昨年の総合防災訓練での反省事項に関して有効な改善策を考え出し、事前の教育や個別訓練でこれに慣熟し、本年度の総合防災訓練において改善が図られていることが確認された。
今後も定期的に要素訓練を継続し、事故対応に関する基礎的な能力と技能を維持するように助言した。
6. その他
配布資料なし。